



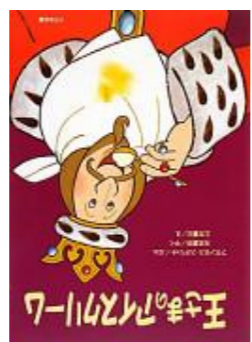
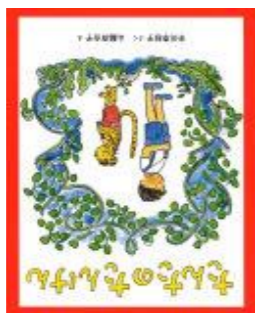
『dreimaischen』
東 君平//作・絵
あかね書房



『うらしまたろう』
時田 史郎//再話
秋野 不矩//絵
福音館書店

『たんたのたんけん』
中川 季枝子//作
山脇 百合子//絵
学研プラス

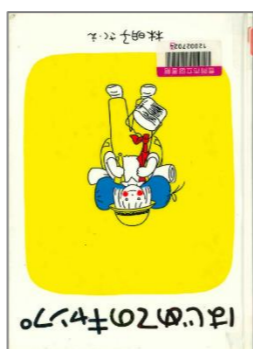
たんたの誕生日に、ふしぎな地図がまいてこきました。たんたがさっそく出発すると、ひょうの子どもと会いました。



『王さまのエアスクリーム』
土方 重巳//絵
フランスス・ステリット//文
大日本図書

『おじめてのキャン』
林 明子//作・絵
福音館書店

大きい子にまぎってキャンに行きたい。みんなは「小さい子にはできないよ」と言いますが、重い荷物を背負って、まきを集め、なほちゃんはんはがんばります。



『かまきりのちゃん』
得田 之久//作・絵
福音館書店

じっと観察していると、朝のお化粧のように化粧をなめたり、獲物を逃したり。かまきりの一日を、優しいまなざしで描きます。



『トワトさん』
田中 清代//作
福音館書店



『アリの目から見た』
桑原 隆一//文
栗林 慧//写真
福音館書店

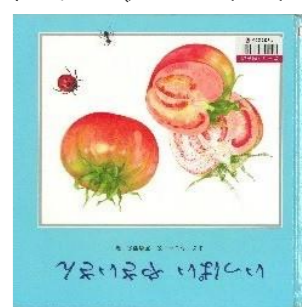
アリの目から見た、巨大なバツヤカマキリたち。写真絵本です。



『アリの目から見た』
桑原 隆一//文
栗林 慧//写真
福音館書店

『いっばい』
まど・みちお//作
斎藤 赤久//絵
至光社

が、今の自分であることをうれしと歌っています。



『いっばい』
まど・みちお//作
斎藤 赤久//絵
至光社

(キリトリ線) 点線に沿って二つに折り、切り込みを入れてから線の位置で折りたたむと小さい冊子になります



『うみざざざ』
ひがし なおこ//作
きうち たつろう//絵
くもん出版

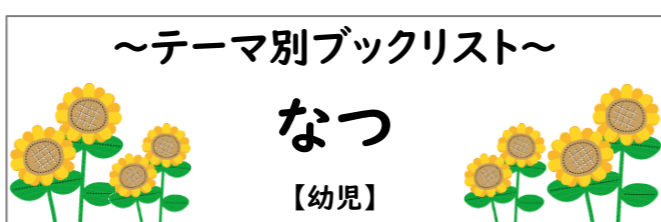
『はだしになっちゃえ』
小長谷 清実//文
サイトウ マサミツ//絵
福音館書店



夏の海水浴。サンダルを脱いではだしになったら、熱く焼けた砂浜があちち！波打ち際の砂はひんやり気持ちいい！はだしの感覚が楽しい絵本です。

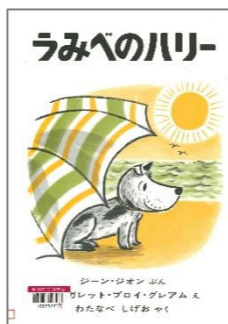
保護者の方へ…
どうぞ、お子さんに本を読んであげてください。子どもたちは、読んでくれる人の愛情と一緒にお話の中に入っていき、物語を楽しむ力を養っていきます。そして、この時間は、生涯にわたって、子どもたちの心を温め続けてくれることでしょう。

2022.7 発行



『めっきらもっきらどおんどん』
長谷川 摂子//作
ふりや なな//画
福音館書店

『うみべのハリー』
ジーン・ジオン//文
マーガレット・プロイ・グレアム//絵
福音館書店



豊岡市立図書館



『みどりのホース』
安江 リエ//文
やぎゅう げんいちろう//絵
福音館書店

お日さまがかんかん照ってる暑い日。「おい、けんた」と呼んだのは、退屈している緑のホースでした。けんたはホースと一緒に、公園へ散歩に出かけます。



『とともともあつひ』
こいで たん//文
こいで やすこ//絵
福音館書店

とても暑い日。三びきのねずみが、お昼寝から目覚めると、ぶらんこがなくなっています。三びきは、手押し車の車輪の跡を、あせをかきながらつけて行きました。



『ひまわり』
和歌山 静子//作
福音館書店

『はなびのひ』
たしろ ちさと//作・絵
佼成出版社



今日は待ちに待った花火大会です。ぼんきちのお父ちゃんは花火職人。ぼんきちが夜食を届けに出かけていくと、町の人たちが「もう花火の時間かい？」とぼんきちについてきました。